

清潔・誠実・実行力

市議会議員

深山たかし

上尾に活力 地域力向上



議会レポート

上平公民館改修完了



昨年より、皆様にご不便をお掛けしておりました、上平公民館の体育室改築と防水工事等が完了しました。工事の内容は、台風や大雨時、雨漏れが生じていた屋根の防水工事及び、体育室を解体し、男女の更衣室を新設し、従来より約一・九倍広くし、バレーボールやバトミントンも出来るようになり、陶芸窯も利用出

来る施設に生まれ変わりました。

去る三月十二日(日)には落成式が行われ、本格的に利用出来るようになりました。

私は、平成十六年九月の一般質問で、上平公民館改修について使い勝手の悪い設備の改善と利便性向上への提案・要望を行い、地域の活動の拠点として皆様に親しまれる施設に出来た事を嬉しく思っております。



上段：外観 下段：体育室内

上平地区下水道整備の進捗状況

ることが解りました。

都市基盤整備は、地域格差を無くし、市民が同じサービスを享受できることが望ましいのですが、上平地区を見ると、他地区と比べ、下水道整備が遅れているように感じておりましたので、今回一般質問をいたしました。

質問の結果、平成十六年末、市の下水道普及率平均が六十八・一パーセントとなっておりませんが、上平地区は三十四パーセントであ



新春綱引き大会

発行元：深山たかし後援会
 発行責任者：深山孝
 上尾市大字上1774-7
 048(776)0575
 fukayama-sov@jcom.home.ne.jp

ホームページは、検索サイト、
 ”深山たかし”で閲覧できます。

今後まちづくり事業の整備計画と調整はかり、地域の方々の要望を充分踏まえ、普及率向上に向け努力するとの答弁を頂きました。

信号機設置

しらかばと郵便局西側交差点及び、市川歯齒科医院の交差点に、自動点滅式信号機が付きました。

以前から車の往来が激しく要望が強い箇所でしたが、埼玉県「緊急市町村道安全対策事業」で実現しました。新設信号ですので、しばらくは戸惑いもあるとは存じますが、危険性は減少し、安心して通行出来る交差点になりました。



新設された自動点滅式信号機

広報あげお十二月号の「黒字」表記問題

十二月議会で一般質問に取り上げましたが、市当局の説明に矛盾点がありましたので、再度質問致しました。

市長は、諸行事の冒頭の挨拶で必ず「上尾市は財政が厳しい」と説明しておりますが、広報あげおでは、「黒字」を強調しています。

一般的に「黒字」の持つイメージは、儲かっていると受け止められます。

自治体は、「利益追求団体」ではありませんので、儲かっているのであれば、市民に還元すべきではないでしょうか。

市は、見解を統一し広報すべきだと考えますが、多くの人が誤解をするような表現を修正しようと思いません。

広報あげおは、多くの市民の方が市から情報を得る貴重な媒体です。



近隣の自治体広報では、決算発表で「黒字」・「赤字」の表現をしているところは、どこにもありませんでした。
市には、正確な情報をおかりやすく適切な時期に市民に伝える責任があります。私は、強く是正を求めております。
【質問要旨は、ホームページに掲載致しましたので、閲覧ください。】

一般質問項目

- ▽行財政改革について
 - ・十二月広報の黒字表記について
 - ・行政改革大綱について
 - ・結果報告と次年度以降の対応
 - ・十八年度予算編成について
- ▽情報化について
 - ・広報のあり方について
 - ・情報系コンピュータネットワークについて
- ・災害時の緊急通報
- ・市民への周知対策他
- ▽都市基盤整備事業について
 - ・下水道整備について
 - ・上平地区の普及状況と今後の年度別整備計画

編集後記

国の三位一体の改革は、地方行政の財政にも少なからず影響が顕れてきております。

上尾市でも、「行財政改革」で事務事業の見直しに着手し、毎年約五億円、五年間で約二十億円の削減を実施することができたそうです。

反面、行財政三ヶ年実施計画では、財政面や社会情勢の変化等により事業化を取りやめたものなど合わせて約三十件ありました。

「行財政改革」とは、予算の一律削減や事業を縮減することではないはず。知恵を絞り、工夫することで、効率的な行財政運営ができる部分も、たくさんあると思います。

市民がどんな施策を望み、どうすればその施策を実現出来るのかを考え、行動することが重要なのです。